

令和 8 年度の実施予定及び県予算案

県事業と各団体自主事業との連携

- ・ 有機的に連携し、各学校の要望に応じた柔軟な事業実施を図っていく。

令和 8 年度県予算案の概要

(各種会議の開催)

- ・ 建設産業担い手確保・育成産学官連携会議（2 回）
⇒現状や課題に対する認識の共有、顔の見える関係の構築
- ・ 若手技術者の離職防止に向けた会議（1 回）
- ・ 女性技術者の活躍・定着推進に向けた会議（1 回）
⇒若手・女性技術者の生の声を集め、アクションプラン・各種施策に反映

(若い世代と保護者への魅力アピール)

- ・ 地域インフラ見学会（2 回）
⇒小学 4 年生から大学生、保護者に工事現場やインフラ施設を見学してもらい魅力を体感してもらう
- ・ I C T 体験会（中学生 3 回）
⇒高校への進路選択前の中学生に I C T による建設産業の進化をアピール
⇒建設課程を有する高校への進学を促進
- ・ I C T 体験会（高校生 7 回）
⇒専門的、実践的な内容を体験してもらい、県内の建設産業への入職を促進
⇒併せて、若手・女性技術者、若手経営者と生徒との意見交換会を実施

※生徒の進路決定に大きな影響力を持つ保護者の理解を深めてもらうことが重要

※地元紙等に積極的に情報提供を行い、取り組みを県民全体にアピール

各学校への出前講座の説明・募集

(小中学生を対象とした事業)

- ・ 令和 8 年 1 月 9 日～2 月 2 6 日、県が各地区小中学校長会（8 カ所）を訪問し、別紙により事業説明をするとともに募集を実施。
- ・ 学校が申込み後、各団体が学校と個別に調整。

(高校生を対象とした事業)

- ・ 今後、各団体が学校と個別に調整。